

日本保健物理学会 Newsletter 2019年7月10日号

送信者: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp> 2019年7月10日 14:00

日本保健物理学会 Newsletter 2019年7月10日号

1. 学会関連情報

○第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会(日本保健物理学会第52回研究発表会)(12月4日(水)~12月7日(土))

8月1日(木)発表申し込み開始予定

<http://www.2019sendai.jrsm.jp>

・Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network “The future of radiation protection profession” 12月4日開催

アブストラクト受付開始(締切: 9月20日)

<http://www.2019sendai.jrsm.jp/workshop/>

○(再掲)令和元年度放射線安全規制研究戦略的事業/日本保健物理学会放射線防護標準化委員会

シンポジウム: 水晶体防護に係るガイドラインを考える(7月20日(土)、TKP 東京駅前会議室)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=166>

○[本学会後援] 19th International Conference on Solid State Dosimetry

(SSD19) (2019年9月15-20日、広島国際会議場)

SSD19 会議のプログラムを更新、オプションツアー(錦帯橋等)の情報を追加。世界45ヶ国から放射線計測評価分野の科学者・技術者が約350人参加予定。これに合わせて、前週(2019年9月11-14日)には広島大学霞キャンパスにて SSD19 Summer School を開催。Standard-rate registration の〆切は8月15日(木)。

<http://ssd19.org>

○ICRP2019 (11月17?21日、オーストラリア、アデレード)

口頭発表申し込みを7月29日まで延長。

<https://icrp2019.com>

○IRPA15(2020年5月11?15日韓国、ソウル)

アブストラクト申し込み開始。

<https://irpa2020.org>

○IRPA15 大会長 Jong Kyung Kim 氏と賛助会員・展示等出展企業との懇談
(7月31日(水)16:00-18:00、電力中央研究所大手町ビル 711 会議室、出欠回答期限 7月19日)

<https://criepi.denken.or.jp/intro/access/map.html#otemachi>

○放射線安全文化の醸成に関する専門研究会 第3回議事録を掲載いたしました。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=50>

2. 関連する研究情報

○International Journal of Radiation Biology 誌が創立 60 周年記念特集号を刊行

<https://www.tandfonline.com/toc/irab20/95/7>

放射線防護の生物学や疫学などに関連する総説を多く含む。

(論文情報)

○J Radiol Prot. 2019. 電子版先行掲載 doi: 10.1088/1361-6498/ab294a.

国際放射線防護委員会(ICRP)のタスクグループ 102「デトリメント算出法」
(http://www.icrp.org/icrp_group.asp?id=95) が、放射線デトリメントの変遷と Publication 103 での
デトリメント算出法に関する検討結果をまとめた解説記事。

History of radiation detriment and its calculation methodology used in ICRP Publication 103. Clero E et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31189142>

○ Radiation Measurements 2019, Volume 124, Pages 91-97, doi.org/10.1016/j.radmeas.2019.03.015.

医療施設における患者や医療従事者の予期せぬ被ばくを爪試料を用いて評価する方法の有効性について検討した。

ボランティア 3 名から採取した爪に LINAC X 線 ~ 70Gy を照射し、電子スピン共鳴吸収(ESR)信号を測定した。

線量と ESR 信号強度の関係には良い線形性が認められた一方、信号強度の時間的安定性などには個人差が観られ、今後それらの適切な補正方法を含むプロトコルを確立する必要がある。

Investigation of the applicability of the ESR nail dosimetry for assessment of accidental exposure in medical facilities Gonzales CAB, Yasuda H, Hirota S, et al.

<https://doi.org/10.1016/j.radmeas.2019.03.015>

○Epidemiology 2019 Jun 25. doi: 10.1097/EDE.0000000000001058. [Epub ahead of print]

福島事故後に実施されている県民健康調査に参加している 245,530 人の検査を受けた被験者を対象に、福島県を外部被ばく線量に応じて 5 地域(高いほうから A,B,C,D,E)に分け、最小線量の地域 E を基準として、甲状腺がんの検出割合を年齢調整したポアソン回帰分析を行なった。

その結果、A,B,C,D,E の各割合は 10 万人あたり 13.5,19.2,17.3,9.0,8.3 であったが、年齢調整したときの E に対するリスク比は、A が 1.62(0.59–4.47), B が 2.32(0.86–6.24), C が 2.21(0.82–5.94)、D が 1.02(0.36–2.86)であった。年齢と性で調整したとき、非肥満に対して肥満の場合 2.26(1.03–4.95)と高く、線量でなく肥満との関連が示唆された。

External Radiation Dose, Obesity, and Risk of Childhood Thyroid Cancer after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: The Fukushima Health Management Survey.

Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, et al.

<https://journals.lww.com/epidem/fulltext/10.1097/EDE.0000000000001058>

3. ニュースや社会の動き

○原子力規制委員会、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための一括整備法の施行に伴う関係する原子力規制委員会規則の整理に関する規則(案)に関する意見公募を実施(8月2日締切)

[https://search.e-](https://search.e)

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=198019109&Mode=0](https://www.nsr.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=198019109&Mode=0)

○原子力規制委員会、「安定ヨウ素剤の配布・服用に当たって」の改正案 を了承(令和元年度第16回原子力規制委員会資料 1-2)

<https://www.nsr.go.jp/data/000275648.pdf>

○OECD/NEA、NEA Monthly News Bulletin ? June 2019 を発行

<http://www.oecd-nea.org/general/mnb/2019/june.html>

○公益社団法人日本アイソトープ協会、放射線設備機器ガイド Gradin をリニューアルオープン

<https://gradin.jp>

○公益社団法人日本アイソトープ協会、日本アイソトープ協会奨励賞を新設、2020年度の応募締切は10月30日

<https://www.jrias.or.jp/report/cat1/309.html>

○原子力規制委員会

国際放射線防護委員会(ICRP)の Publication 125 および 132 の和訳を刊行

「Publication 125: セキュリティ検査における放射線防護」

http://www.icrp.org/docs/ICRP125_Japanese.pdf

「Publication 132: 航空飛行時の宇宙放射線からの防護」

http://www.icrp.org/docs/ICRP132_Japanese.pdf

4. これからのイベント

○大学等放射線施設協議会主催、特定放射性同位元素防護措置勉強会（関係事業者における防護措置関係者限定）

・東京会場 7月20日(土)13:30~

キャンパス・イノベーションセンター東京 国際会議室(JR 山手線・京浜東北線田町駅前)

・大阪会場 7月27日(土)13:30~

大阪大学豊中キャンパス 理学研究科南部陽一郎ホール

参加申込・問い合わせ: bougo@lane.iir.titech.ac.jp (勉強会事務局)

○みんなのくらしと放射線展(8月3日(土)-4日(日)、大阪科学技術館)

オフィシャルサイトが公開。サイエンスショーの申込締切 7/22(月)

<http://www.housyasen-fukyu.com/event/>

○日本原子力学会 原子力安全部会主催第7回「原子力安全夏期セミナー」

8月19日(月)-21日(水)、福島 いわき湯本温泉「吹の湯旅館」

参加締切:8月2日、先着50名

<https://clicktime.symantec.com/3KPF1RuLrKQDR17165sBhjn7Vc?u=https%3A%2F%2Fform.os7.biz%2F%2F%2F6b84c1%2F>

○日本原子力学会「2019年秋の大会」

9月11日(水)-13日(金)、富山大学五福キャンパス(富山市五福3190番地)

事前登録:7月24日まで

<https://confit.atlas.jp/guide/event/aesj2019f/static/registration>

○公益社団法人日本アイソトープ協会 放射線安全取扱部会 2019年度北海道支部見学会

9月17日(火)14:30?、日本メジフィジックス株式会社 札幌ラボ(放射性医薬品製造施設)

<https://jrias.smktg.jp/public/seminar/view/43>

○放射線障害防止中央協議会主催、令和元年度(秋期)「放射線安全管理研修会」

9月26日(木)10:00~、文京シビックホール(小ホール)

http://www.houchukyo.org/form_kensyuR1.html

○文部科学省「グローバルな大学院進学を考える集中セミナー」
(Aプログラム)12月14日(土)、芝浦工業大学 豊洲キャンパス(定員:60名)
https://www.tobitate.mext.go.jp/univ/graduate_school/

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○量子科学技術研究開発機構 次世代放射光施設整備開発センター
任期制常勤職員(研究職):2名程度
(締切:7月31日(水)必着)
<https://www.qst.go.jp/site/fixed-term/27310.html>

○東北大学 ニュートリノ科学研究センター
准教授, 助教 各1名
常勤・任期なし(締切:8月30日(金)必着)
<https://www.awa.tohoku.ac.jp/rcns/?p=14217>

○原子力規制委員会行政職員(事務系)
合計20名程度
(締切:8月30日(金)消印有効)
https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_jimu.html

○(公財)原子力環境整備促進・資金管理センター 放射性廃棄物処理処分の調査研究
正職員、1~2名
(締切:8月30日(金)、これ以降も継続して受付)
https://www.rwmc.or.jp/news/2019/07/post_67.html

○(公財)原子力環境整備促進・資金管理センター 放射性廃棄物処理処分の調査研究
嘱託職員(満60歳以上)、1~2名
(締切:8月30日(金)、これ以降も継続して受付)
https://www.rwmc.or.jp/news/2019/07/post_67.html

○福井大学 学術研究院工学系部門 原子力安全工学講座
助教 1名
常勤・任期あり(締切:9月30日(月)消印有効)
https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/teachers/

○名古屋大学 大学院工学研究科総合エネルギー工学専攻 エネルギーシステム工学講座
助教 1名

常勤・任期あり(締切:9月30日(月)必着)

http://www.nagoya-u.ac.jp/employment/upload_images/20190703_engg1.pdf

○ITER 機構職員

専門職員:9ポスト(13名)、支援職員:1ポスト(1名)

締切等は以下を参照のこと。

http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/page6_2.html

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会
【編集】同企画委員会
【発信元】同学会事務局
TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659
E-mail: exec.off@jhps.or.jp

